



朝夕は随分と過ごしやすく感じるようになりましたが、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。暑さによる疲れが残っている方もいると思われまます。十分な栄養と休養を取り、水分補給も忘れずに、健康管理は万全にしたいですね。

学校給食関係者等が長野に集う

8月1日（木）・2日（金）長野県長野市に於いて第1回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会が開催されました。全国から参加者1240名のうち青森県からは県教育委員会、当給食会からの派遣者等を含む14名が参加されました。



【1日目 全体会】文部科学省説明、文化庁説明の後、記念講演、シンポジウムが行われました。

記念講演は、長野県白馬村出身のノルディック複合選手 渡部 暁斗氏による「食事を愉しむ」でした。

2022年北京オリンピックでは個人、団体が銅メダル取得。現在は、180日は海外遠征というハードな生活を送っています。選手初期は食事の優先順位は低かったそうですが、競技の先輩で現長野市長の荻原健治氏から、「食えねえやつは強くなれない」といわれたことが、心に残っていらながらも意味を理解出来ないまま、食事に対してストイックに見直しすぎて、記録が伸びなかったそうです。2018年の世界選手権ではヘトヘトになりすぎて、限界と思い、週末にハンバーガーやピザとビールを摂り始めたら良い結果となり、知識ばかりに頼るのでなく、競技に合った食事があることに気付いたそうです。また、伝統的な習慣が大切なことにも気付き、それから幼少期の好きだった物を親に聞いたり、スパイスや粗食についてなど、独自でいろいろ学び、栄養だけでなく、消化・吸収までを含めて食事なのだと思ひ、荻原氏から言われた言葉の意味が理解出来、結果にも繋がっているそうです。演題に「愉しむ」の文字を使用したのは、「楽しむ」は受動的、「愉しむ」は能動的（考える）の意味を持っており、食べ物は一生涯向き合うものなので、知っていく愉しむ気持ちを子どもと一緒に持てたら良いと思つたことだそうです。そして、「愉しむ」と「楽しむ」の両方を感じてくれたら、とのことでした。



シンポジウムでは、栄養教諭・教頭（栄養教諭）・教諭・保護者代表がシンポジストで、「全職員が食育の必要性を理解し、子供に必要な食育を行うために」について話合われました。栄養教諭に期待する部分は大きいですが、給食管理業務プラス食育となると限界があり、これからは職務について振り分けが必要で、PTA（保護者）も加わり、全職員がお互いに頼りながら実践するのが良い等と意見がまとまりました。

【2日目 分科会】会場毎に分かれて3例の研究発表の後、質疑応答、協議内容に従って協議がありました。第6分科会では、「食育を推進するための校内組織の在り方と食に関する指導の全体計画に基づいた実践の必要性」をテーマに、平内町学校給食センター工藤 勝子栄養教諭が発表されました。



祝！文部科学大臣表彰

おめでとうございます



八戸市立桔梗野小学校（八戸市立学校西地区給食センター）
栄養教諭 宮内 郁江 氏が表彰されました。

表彰式は、これまでは秋に開催される全国学校給食研究協議大会に於いて行われていましたが、今年度から栄養教諭大会と合同開催となったため、第1回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会の会場で行われました。



祝!青森県学校給食表彰

おめでとうございます

8月9日弘前市で開催された 第57回東北学校保健大会兼令和6年度青森県学校保健・安全・給食研究大会に於いて県教育長表彰が行われました。学校給食での表彰は次の通りです。(敬称略)

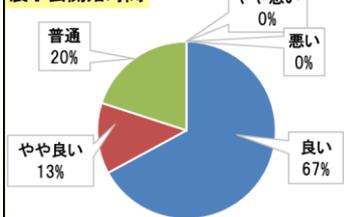
学 校	青森市立佃小学校	学 校 給 食 関 係 者	平内町立小湊小学校
	むつ市立苫生小学校		栄養教諭 工藤 勝子
	八戸市立是川小学校		青森県立八戸第一養護学校
	三戸町立斗川小学校		主任栄養士 佐藤 弘美

アンケートの結果がまとまる

先月行われた物資総合展示会及び夏季研修会において、アンケート調査を行いましたので、結果をお知らせします。

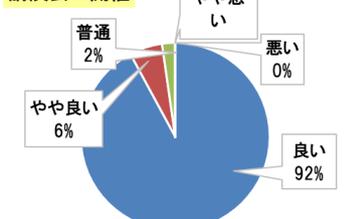
講演は、栄養教諭・管理栄養士 松丸 奨 氏による『子どもの心に響く給食 ～給食と食育の実践～』でした。アンケートの質問事項は、①展示会の開始時間について、②講演会の開催（1講演）について、③今回の講演（テーマ、講師等）についての3項目です。参加者 103名のうち89名から回答がありました。集計結果と主な理由（一部抜粋）について掲載します。

展示会開始時間



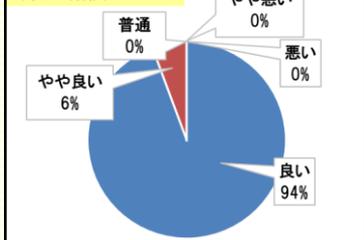
- ・試食テーブルがもう少しあれば良かった。
- ・試食も伴うので、ちょうど良い時間だと思う。
- ・駐車場探しに時間がかかり、あまりじっくり見る時間が無かった。
- ・展示会をみた後の講演の流れが良いと思った。
- ・見て回るのにちょうど良かった。
- ・余裕を持って参加できた。
- ・食材のバランスが良かった。
- ・昼ごはん用に丁度良かった。
- ・商品の説明など、ゆっくり聞くことができた。

講演会の開催



- ・非常に良い。
- ・時間的にも丁度良く、適当だと思う。
- ・コロナ前に戻して午前・午後でもいいと思う。
- ・いいのだが、開始時間がこの時間なら一度センターに行ってからでないといけないので、午前中に講演があってもいいかと思う。

今回の講演について



- ・同じ立場の先生から、共感も含めて話を聞けてすごくよかった。
- ・子どもへの関わり方や学校給食運営等について様々な実践事例やアイデアなど参考にできるものがたくさんあった。
- ・とても楽しかった。
- ・先生のお話を聞いて、やる気が出た。
- ・すごく勉強になった。 ・非常に良かった。
- ・もっと聞きたかった。
- ・同じ悩みを持っているということで、力になった。
- ・松丸さんのお話を聞いてみたいと思っていた。
- ・お話の内容がおもしろかった。

◆お知らせ◆

【締め切り近づく】●「学校給食レシピコンテスト」は、県内の小学校・中学校・特別支援学校の児童生徒ならどなたでも応募可能で、栄養価計算は不要です。課題食材は毎年異なり、今年度は【とり肉、サケ・マス、ほたて、にんじん、牛乳、りんご】のうち、1品以上使用することとしています。応募用紙も変更箇所がありますので、最新のものを使用くださるようお願いいたします。

応募締め切り日は9月24日（火）必着です。たくさんのご応募お待ちしております。